

公共政策特別講義

大阪学院大学 × 大学院

マッセ^oSAKA



対 象：府内市町村職員

実施期間：後期（10月～2月頃）

申込締切：令和7年7月31日（木）まで

大学院生とともに公共政策について学んでみませんか？

- ✎ 今年度の「公共政策特別講義」では、さまざまな観点からの歳入・歳出分析をテーマに、自治体財政が直面する現状と課題、地域の活性化のための今後の制度改革のあり方等について考察します。
- ✎ 講義は、履修生による積極的な質疑・発言を中心とした進行を予定しています。
この機会に「公共政策特別講義」で新たなステップを踏み出しましょう！！

こんな方におすすめ！



- ・ 特定の課題を深く研究したい方
- ・ 地域活性に貢献する行財政運営について知識を深めたい方
- ・ 先生や大学院生、他自治体職員との関わりで自己研鑽したい方



詳しくは裏面をご覧ください。

どんなテーマが研究できるの？

令和7年度のテーマ

- ・ 地方財政の役割
- ・ 地方自治体の歳入・歳出構造の概要
- ・ 地方税の全体像
- ・ 地方税原則
- ・ さまざまな地方税
- ・ 地方交付税
- ・ 国庫支出金
- ・ 地方債
- ・ 公共サービスの新たな供給手法

これまでの参加者の声

・国・地方の財政・経済の様々な知識を専門的に学ぶことができたことは大きな財産となった。

・地方財政は、どの課に属していても根幹に関わっているため、意識して職務に活かしていきたい。

・採用試験以来ほとんど勉強をする機会がなかったが、この機会を糧にして今後は個人でも勉強を続け、職務に反映するべく努力したい。

・職員の能力向上だけでなく、他団体職員と知り合えたことは、非常にいい経験でした。

ご参加を
お待ちしております！



公共政策特別講義の流れ (イメージ)

6月 募集

市町村研修担当課を通して、お申し込みください。

申込締切：7月31日（木）

9月 受講決定



10月～ 研究期間

開講日時：原則、毎週土曜日 3 限

(13:30～15:15)

実施方法：オンライン (ZOOM)

予習・復習、各種媒体からの地方財政に関する情報収集のほか、自治体財政への関心と理解を深め、授業に臨みましょう。

授業中は、積極的に発言することが望ましいです。

2月 終了報告書作成

マッセO S A K Aへ提出



【問い合わせ】

(公財) 大阪府市町村振興協会 研修研究部 (マッセO S A K A)

TEL: 06-6920-4565 E-mail: center-tr@masse.or.jp